

こんぺいとう通信



教室のみなさん、こんにちは (^^)J
え？ おまえは誰だ？
そんなつれないことをおっしゃらずとも…。すっかり季刊となってしまった感のあるこんぺいとう通信です。気がついたら、今年2月に発行して以来となつてしまいました。私のパソコンの中には、書きかけの4月号とかが眠っているのですが、それはさておき…久し振りに最新号をお届けしたいと思います。

今から1週間ほど前、私が教室で使っているノートパソコンがいきなりクラッシュしてしまいました。最初は、パソコンの画面が固まったので、「やれやれ、しょうがないなあ」と軽く考えていたのですが、再起動すれば直ると思いきや、いつもと違う画面と見慣れぬメッセージが表示されます。それでも、まだこの時には余裕がありました。教室の他のコンピュータを使い、ネットで情報を収集、なんとか対応しようとしたのですが、調べていくと、どうもハードウェアの不具合、つまり機械が物理的に壊れているようなのです。

困りました…。
いやまあ、パソコン自体はウィンドウズ ビスタが発売されたときに購入したもので、それにウィンドウズ7を入れて使っていたものであり、もうだいぶ古い機械なのです。だから、近いうちに買い替える予定だったし、壊れたことにそれほどダメージはありません。ただ、いかんせん時期が悪すぎます。なぜなら次のウィンドウズが、あと2か月で発売されるからです。

10月26日に、次期OS（オーエス、オペレーティングシステム）である ウィンドウズ8（エイト）が発売されます。ウィンドウズ8では、大幅な機能の刷新がされます。今流行のタブレットにも対応す

るウィンドウズ8では、これまでのスタートボタンが廃止され、メトロスタイルが採用されています。「タイル」と呼ばれる小さなパネルが画面上に配置され、それをクリックするかタッチすることでアプリ（ソフト）が画面いっぱいに表示されます。パソコンの起動も高速化され、快適に使えるようです。その一方で、これまでのウィンドウズとは使い勝手が大きく異なるので、慣れないうちは戸惑うことも多いかもしれません。

秋にはウィンドウズ8が入ったパソコンが多数発売されるでしょうが、その中にはタッチパネルに対応した製品も多く含まれると思います。

従来のパソコンと同じく、インテル社のCPU（コンピューターの頭脳にあたります）を載せた機種ほかに、タブレットにウィンドウズ8を載せた機種も発売されます（ウィンドウズRT）。

現在タブレットといえば「アイパッド」か「アンドロイド端末」ですが、そこにマイクロソフトも参戦、巻き返しを図ろうという狙いがあるわけですね。

そんなわけで、私もウィンドウズ8が発売された暁には購入しないわけにはいかないのですが…いや、別に欲しいわけじゃないんですよ、嫌々買うんですよ、ホントに(^^)、いずれにしてもあと2か月は待ちたいんです。今ウィンドウズ7パソコンを買って、8が発売されたらアップデートするという選択肢もなくはありませんが、あまりお勧めではありませんので。まあ、8が手元に来たら、さっそく使い勝手などをご報告しますね。それまでの2か月間は、家に放置してあった古いパソコンで凌いでみます。

さて問題です。ウィンドウズ8が発売されると、次のこんぺいとう通信が発行されるのは、どちらが先になるのでしょうか？…なんちゃって(^^)